

○菅原諒一・近藤則夫・秋野聖之

日本産 *Phialophora gregata* の遺伝子型を特定する rDNA 遺伝子間領域における DNA 多型

Sugahara, R., Kondo, N., and Akino, S.: DNA polymorphism in the intergenic spacer region of rDNA specifying genotypes of *Phialophora gregata* collected from Japan

Chen ら(2000)によってダイズ落葉病菌 *Phialophora gregata* f. sp. *sojae* の rDNA の Intergenic spacer (IGS)領域の一部をターゲットとしたプライマー組合せ BSRIGS1／BSRIGS2 が開発され, *P. gregata* f. sp. *sojae* は遺伝子型 A または B に, アズキ落葉病菌 *P. gregata* f. sp. *adzukicola* は遺伝子型 C に分類されることが示された. ところが, 伊藤ら(2008)により *P. gregata* f. sp. *adzukicola* 集団は, 遺伝子型 C に加え遺伝子型 A, B 及び D の 4 種類から構成されることが示された. 本研究では, ダイズ落葉病菌を含む日本産 *P. gregata* 全遺伝子型の IGS 領域塩基配列を解析, 比較した. 日本産 *P. gregata* f. sp. *sojae* に認められた 2 つの遺伝子型 A 及び B の塩基配列は, 米国産の対応するそれぞれの遺伝子型と一致したのに対し, *P. gregata* f. sp. *adzukicola* の遺伝子型 A 及び B にはそれぞれ 2 つのサブグループが認められ, *P. gregata* f. sp. *sojae* のそれぞれの遺伝子型との塩基配列類似度は 90% 以下となった. 一方, *P. gregata* f. sp. *adzukicola* 遺伝子型 C 及び D の集団内では, それぞれ 98% 以上の塩基配列類似度を示した.

(北大院農)